

非正規にも「自己啓発休暇」を 店舗統廃合・事務合理化への不安をなくす労使協議を！ 金融ユニオン

明治安田生命関連会社に改善要求

金融ユニオンは、春闘で非正規社員と正職員との「均等待遇の実現」を求めて企業との交渉を進めています。MYJは生命保険、損害保険の事務、企画業務を行う明治安田生命の関連会社です。同社は今年度から非正規社員にも積立保存休暇を実現しましたが、金融ユニオンはさらに、正社員に与えられている「自己啓発休暇」を非正規社員にも与えることを要求しています。組合は「非正規にも今年度から職務評価制度を導入し、レベルアップを求めているのに、非正規に自己啓発休暇を付与しないというのは、厚労省のガイドラインにも反する、合理的理由のない差別、均等待遇違反だ」として早急に改善するよう求めました。

これに対して、会社側は何ら説明できず「今、いつからとは約束できないが、前向きに考えたい」と改善の検討を示しています。

金融ユニオンHP 記事を開く [非正規にも「自己啓発休暇」を](#)

店舗統廃合・事務合理化への不安をなくす労使協議を！

大阪で三菱 UFJ 銀行へ 785 枚のビラ配布

金融ユニオンは4月12日には、三菱UFJ銀行大阪営業部と今橋事務センターに朝と夕方、全国金融共闘の統一ビラと金融ユニオンのビラ、金融労連リーフレットをセットにして435セット配布しています。三菱UFJフィナンシャルグループは、現在、大規模なリストラ計画を推し進め、2023年度までに国内516店舗を2~3割削減し、同時に70~100店舗を「機械化店舗（仮称）」に転換する。テラーが窓口で対応してきた業務を機械対応に切り替え、9500人分の業務量を削減し労働者を6000人減らすとしています。このリストラでは、正規労働者だけではなく、契約社員など非正規労働者もリストラの対象となります。また、6000人という数字は銀行本体の雇用労働者で、関連会社従業員や派遣労働者を合計するとさらに多くの労働者が対象とされることが懸念されます。

4月12日の大阪宣伝では「非正規にボーナス・退職金を！ 店舗統廃合・事務合理化への不安をなくす労使協議を！」と掲げたのぼりを立てかけて宣伝を行いました。3月の第一次宣伝行動と合わせて、大阪の三菱UFJ銀行には合わせて785枚のビラを配布しています。

三菱UFJ銀行への宣伝行動は東京の全国金融共闘統一行動（4月19日）や名古屋の栄総行動（4月17日）でも取り組まれています。ビラを受け取った労働者から返信が寄せられ、非正規労働者への差別待遇への怒りや不安が示されています。

金融ユニオンHP 関連記事 [4・12 三菱UFJ銀行大阪社前宣伝](#) [4・17 愛知「栄総行動」](#)